

大会名 Competition	秋田国体記念 第20回能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-204	Year Month Day Time 2007 年 5 月 4 日 11 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B															
聖和学園高	<table border="1"> <tr><td>22</td><td>1st</td><td>4</td></tr> <tr><td>10</td><td>2nd</td><td>26</td></tr> <tr><td>13</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>18</td><td>4th</td><td>18</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	22	1st	4	10	2nd	26	13	3rd	17	18	4th	18	OT			秋田選抜
22	1st	4															
10	2nd	26															
13	3rd	17															
18	4th	18															
OT																	
63 ●		65 ○															

主審:Referee 渡邊 整 (栃木)  
副審:Umpire 伊藤 文子 (秋田)  
テーブル・オフィシャルズ:Table officials 二ツ井中

No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	Pl-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	佐々木	ゆみ CAP	2	0	1	0	5	4	／	遠藤	梓 CAP	0	0	0	0	1
5	×	永野	由香里	8	0	4	0	0	5	／	天野	紗智	-	-	-	-	-
6	／	板橋	友海	12	2	3	0	4	6	／	斉藤	渚	-	-	-	-	-
7	／	平間	美優	9	2	1	1	3	7	×	笹木	香澄	2	0	1	0	3
8	×	佐藤	恵美	0	0	0	0	1	8	／	山谷	美架	6	1	1	1	0
9	／	佐藤	友美	1	0	0	1	1	9	／	加藤	志織	-	-	-	-	-
10	×	高橋	智美	25	5	5	0	3	10	×	大石	美早紀	17	0	8	1	0
11	／	関根	美穂	-	-	-	-	-	11	／	二田	佳奈	2	0	1	0	1
12	×	内海	絵美香	4	0	2	0	0	12	／	工藤	梢	5	1	1	0	2
13	／	早坂	妙江	0	0	0	0	0	13	×	菊池	亜寿沙	20	2	7	0	2
14	／	宮崎	あかね	-	-	-	-	-	14	／	伊賀	春奈	-	-	-	-	-
15	／	酒井	葉月	-	-	-	-	-	15	／	黒澤	早苗	-	-	-	-	-
16	／	佐々	満理奈	-	-	-	-	-	16	／	高橋	彩	4	0	2	0	1
17	／	藤原	沙也歌	2	0	1	0	1	17	×	米川	佳穂	3	0	1	1	3
18	／	安倍	笑子	-	-	-	-	-	18	×	眞田	ひかる	6	2	0	0	0
コーチ		小野	安壮						コーチ		嘉藤	喜隆					
Aコーチ		安野	努						Aコーチ		樋渡	真					
合 計				63	9	17	2	18	合 計				65	6	22	3	13

※×:スターター 〃:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P\* イントシュート 2P:2P\* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、両チームともマンツーマンでスタートする。先制したのは聖和学園。#10高橋(智)のジャンプシュートで幕を開ける。その後も#6佐藤のジャンプシュート、#10高橋(智)の3Pなどで、コンスタントに点数を重ねていく。対する秋田選抜は、シュートは打つものの、決定力に欠ける。リズムを変えたい秋田選抜は、残り6分でメンバーを総入れ替えし、ディフェンスをゾーンディフェンスに切り替えてリズムを変えようとする。しかし、聖和の勢いを止めることができず、秋田選抜は総入れ替えを繰り返す。今ひとつ元気のない秋田に対し、聖和は#10高橋(智)、#4佐々木のシュートなどで着実に加点。結局、22-4の18点差で1Qを終了する。

2Q、このままワンサイドゲームになるかと思われたが、開始直後から秋田は激しいオールコートディフェンスで対抗し、2連続得点する。すかさず聖和はタイムアウトを請求し、相手リズムを絶とうとする。しかし、秋田の気迫あふれるディフェンスの前に、聖和のシュートが徐々に落ち始め、秋田はリバウンドから#13菊池のジャンプシュート、3Pシュートなどで一気に流れを引き寄せる。その後も#13菊池、#10大石を中心とした攻撃で猛追する。対する聖和学園は、#7佐藤(友)のシュートなどで対抗するも、秋田選抜の勢いを止めることができず、結局32-30の聖和が2点リードで終了する。

3Q、完全にリズムを掴んだ秋田選抜は、残り9分#13菊池の3Pでついに逆転に成功。一気にたたみかける。聖和は約5分間ノーゴールが続き苦しい展開。残り5分35秒にタイムアウトを請求し、立て直しを図るが、相手リズムを抑えることができない。それでも、終了間際、秋田選抜のイージーミスにつけ込み、連続得点をし意地を見せる。結局45-47で終了。

4Q、試合は一気にヒートアップする。聖和は#10高橋(智)の連続3Pで突きはなしにかかるが、秋田選抜も#10大石のカットインなどで対抗。一進一退の攻防が続く。同点で迎えた残り1分29秒、秋田選抜がタイムアウトを請求する。その直後、#10大石がカットインで相手ファウルを誘い、フリースローで2点リードする。その後、聖和#6佐藤(恵)のジャンプシュートで同点にされるが、またも相手ファウルを誘い、フリースローを得る。これを#13菊池が冷静に決め、2点差で秋田選抜が逃げ切った。

聖和学園は第2Q、秋田選抜は第1Qに課題を残した。また、大事な場面でのファウルトラブルやイージーミスなども目立った。しかし、両チームとも最後まで懸命にプレーし観客を魅了した。